

保護者の皆様へ

「理学療法士」を3年間でめざす東京衛生学園専門学校 「学ぶ力」をつけるための2つの実践

理学療法士の国家資格をめざす学校には3年制（専門学校）と4年制（大学・専門学校）があります。3年制の学校は、1年早く理学療法士としてのキャリアをスタートできるという非常に大きなメリットがありますが、「3年間で学びきれぬのか？」というご不安、ご相談をいただくケースも少なくありません。

3年間の学びで国家試験に合格するために、東京衛生学園専門学校リハビリテーション学科では様々なサポートを行っています。中でも近年注力している、より早い時期に「学ぶ力」をつけるための実践をご紹介します。

①入学前サポート

1：入学前のグループワーク・課題

クラスメイト同士、教員と交流を持ち、入学後の授業で数多く取り組むことになる「グループワーク」を模擬的に体験します。また、授業で使用するテキスト、理学療法機器に関するレクチャーも受講します(12～2月)。

より早い時期に受験、合格された方につきましては、理学療法士の職場見学(病院・介護福祉施設)にもご参加いただけます(10月～11月)。

2：入学パスポート

入学決定した方には「入学パスポート」を発行、送付します。この入学パスポートで、図書室を利用したり、授業を聴講することができます(授業聴講は要事前申込)。入学前でも学校に行き、学校の施設・サービスを利用することができる、2015年度からスタートした新しいサポートです。



3：入学準備講座

授業開始を控えた4月初旬に、学習方法から理系科目の基礎まで、経験豊富な講師が指導します。

●学生生活ガイダンス・レポートの書き方

授業の受け方、ノートのとり方、復習・テスト勉強のコツなどを伝授します。

また、読む人に伝わる文章の書き方、考えを表現するためのコツなど、レポート作成のポイントを説明します。

●基礎生物入門

人の身体の仕組みなど、入学後の授業で学ぶ「解剖学」「生理学」の基礎について、中学や高校で学んだ生物を振り返りながら、わかりやすく説明します。

●物理学入門

授業に関わる物理の基礎知識を、文系の人もわかりやすいように解説します。



②初年度教育

学科開設以来39年間にわたり蓄積した経験をベースに、近年の高校生の学習・生活動向の変化を踏まえ、本校では特に1年目、初年度の教育がますます重要になっていると考えております。1年次に専門の勉強をする習慣・方法を身につけ、基礎科目をしっかり学ぶことで、2年次以降の応用科目、臨床実習に充実した気持ちで取り組むことができます。初年度教育について、最近2～3年の間で、新たに取り組み始めた対策をご紹介します。

1：教員担当制／学生のグルーピングによるサポート（1年次～3年次）

1年次前半のテスト結果を踏まえて、自主学習を行うためのグループを結成し、各グループの担当教員が通年で指導、フォローを行います。

また各グループには成績上位者が入るよう調整し、学生同士が教え合う雰囲気、流れを醸成します。

2：早朝学習（1年次）

入学当初より、「毎日登校して学ぶ」習慣を身に付けるために、「早朝学習」の時間を設けています。4月～6月 週3回程度、始業前に約1時間、授業で学んだ内容の復習を中心に行います。



3：早期補習・夏休み補講（1年次）

1年次前半のテストで成績が下位の学生については、早期に補習を行い、夏休み期間にも補講を実施します。できるだけ早い時期に学力を上げることで、モチベーション低下防止にもつなげます。



4：早期の模擬試験実施（1～2年次）

1年次から、国家試験対策の模擬試験（解剖学、生理学等）を実施。苦手分野を把握してもらいます。また、同じ試験を2年次にも実施し、各自のレベルを改めて認識してもらうことで、継続的な学習につなげます。



5：上級生・卒業生との座談会（1年次）

入学当初は、暗記系の科目が多いため、学習に対するモチベーションが下がり気味になる学生もいます。「理学療法士になりたい」という思い、志を再確認し、やる気を高めるきっかけとして、上級生や卒業生と交流する座談会を設定しています。また、上級生が自主的に声をかけて、放課後に勉強会が開催されることもあります。



理学療法士 国家試験合格率

東京衛生学園専門学校 リハビリテーション学科

86.5%

(全国平均 81.4%)



東京衛生学園専門学校

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-1-1

TEL 03-3763-6621 <https://www.teg.ac.jp/>